



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『夏』号
2019年 7月

小山せいぞう事務所

苫小牧市ときわ町1丁目19-23

TEL0144 (67) 8255

市の監査委員（議会選任）に就任 公平不偏の立場で

第1回市議会臨時会は、5月20日（月）から5月22日（水）まで開かれました。

臨時会は、4月21日の統一地方選後初めての開催となるため、新しい議会人事を中心に審議を行い「議会三役」である議長、副議長、監査委員を選任しました。

今回の選挙は、自身にとって三期目の挑戦であり、多くの皆様にご支援をいただき当選を果たすことができ改めて感謝申し上げます。議会人事では、監査委員にご推挙いただきました。

本会議場でのあいさつで、私は「少子高齢化、人口減少社会における行財政は、本市も非常に厳しい状況にあります。効率的で効果的な財政運営ができますよう公正不偏の立場で、監査を務めます」とお誓いいたしました。

近年の監査報告書は、市の会計だけではなく、行財政運営全般の在り方を検証した報告書になっております。行政運営は、今まで通りの考え方では、許されなくなりました。不能欠損（未納となった市の債権）も未だに多く、市民負担の公平性推進に努めてまいります。

第2回市議会定例会は6月20日（木）から6月28日（金）まで開かれ、報告6件、議案26件、諮問1件、要望意見書2件、決議2件などの審議が行われました。



監査委に小山氏選出

小山氏は「効果的かつ効率的な財政運営ができるように、公正不偏の立場で監査に努めたい」と決意を述べた。

小山氏は苫小牧市出身、苫小牧工業高等学校卒業。苫小牧市消防職員を経て、2011年の苫小牧市議選で初当選し、3期目。

苫小牧市議会臨時会は21日午後、本会議を再開し、民主クラブの小山征三氏（62）を監査委員とする選任同意案について全会一致で可決した。同日午前、会派の代表者会議で議案が推薦する監査委員の人選案を断続的に協議。5人が所属する第3会派の民主クラブが小山氏を擁立する意向を示し、全会一致で同意した。本会議場であいさつした。

苫小牧民報
2019年5月21日(火)

***** 2019年度 主な公共施設の建設計画 *****

消防署日新出張所庁舎建て替え事業

2020年3月末に運用再開へ

消防署日新出張所は、1978年に市営住宅併設で建設され、40年間にわたり地域住民の生活を守ってきました。しかし、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を受けて、耐震診断を実施した結果「震度6強から震度7の大地震で、倒壊または崩壊の危険性がある」と判定されました。消防施設として十分な耐震性能を有していないことから昨年解体され、今年度、建替工事が進められます。

新庁舎の建屋は、以前と比較すると約2.5倍の規模となり災害時などの危機管理機能を有した西地区の基幹となる消防施設です。概要は①通常建物の1.5倍の耐震強度を確保②災害時3日分の消防機能を維持する設備を完備③多様化する災害に対応する車両配備④住民の消防防災意識の高揚と知識の普及を目的とした研修室の設置などが見込まれます。運用開始予定は、来年の3月末を予定しています。



イメージ図

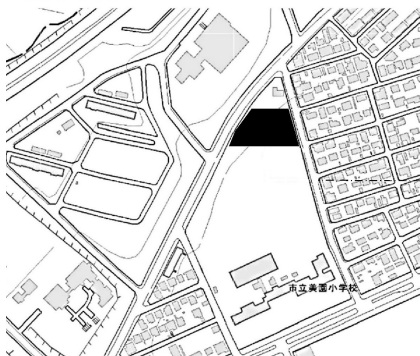
	旧 庁 舎	新 庁 舎
階 数	地上2階	地上2階
構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
延床面積	640.17㎡	1543.16㎡
建設場所	苫小牧市日新町4丁目2番1号	

2021 年度に開園予定

2015 年 4 月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」では、本市がより充実した保育施設を効率的に展開するために公立・法人保育所の役割などの違いを踏まえ、互いの特徴をより一層活かした取り組みが進められてきました。今議会では「みその・しみず保育園」の工事関連予算が計上され、2年後の2021 年開園を目指しています。

今後、公立保育所で優先的に取り組む課題として、①3歳未満児の受け入れ体制の充実②障がい児保育またはアレルギーのある児童向けの保育の実施③病児病後児保育の実施などがあります。また、延長保育や休日保育といったいわゆる特別保育の実施も検討しています。

案内図



【新保育園整備計画】

		みその	しみず	いとい北
建替え方式		公設公営（統合）		公設公営
定員	0歳児		12名	12名
	1歳児		20名	20名
	2歳児		27名	27名
	3歳児		20名	20名
	4歳児		20名	20名
	5歳児		20名	20名
	計		119名	119名
	障がい児 2～5歳		12名	12名
	総計		131名	131名

新第2 学校給食共同調理場は2022 年稼働へ

これまで公共工事の発注に当たっては、設計・施工の分離が原則でありましたが、美原町に移転新築を検討している第2 学校給食共同調理場について、厨房設備の選定や調理場本体の設計・施工を一括発注するプロポーザル（提案型公募）方式を採用し、2022 年1 月に運用開始する方針を示しました。本年7 月に住民説明会を開催し、9 月の市議会定例会で設計・施工に伴う事業費を予算計上します。

《総務委員会》

市債権管理条例制定へ

6 月 26 日に開催された総務委員会では、苫小牧市の不能欠損額の現状と今後の方向性を質しました。市側は、債権管理について道内で条例を制定している自治体は35 市のうち23 市に上ることを説明。本市の不能欠損は、ここ3 カ年で一般会計は7 千万円～9 千万円、特別会計で1 億2 千万円、企業会計では1 億3 千万円となっていることを明らかにしました。これまで債権者が生活困窮により無資力、あるいは居所不明、死亡により相続人がいないなど徴収困難な場合は、債権者の状況の調査など確認をしていますが、今後は、条例制定で複雑な債権管理を体系的に整理した上、統一的な事務処理と管理の適正化を図るとしました。また、資力があるにも関わらず履行しない債権者に対しては、公平、公正な市民負担の確保の観点からしっかりと対応する考えも示しました。

《総合開発特別委員会》

経済産業省は、2020 年度から新設のメガソーラーに対して固定価格買取制度（F I T）を適用しない方向で法改正を検討しています。市内の設置状況と今後の影響について見解を求めました。

市側は、本年5 月現在でメガソーラーが25カ所に設置され、このうち8カ所が苫東地区にあると説明しました。岩倉市長は、F I T 制度の見直しについて「非常に重要な問題である。エネルギーの需給バランスや供給事業者はどうなるか、動向を注視したい。国はしっかりとした方向性を示してほしい」と述べました。

メガソーラー市内に25カ所

苫小牧市議会
総合開発特別委員会
議事録

苫小牧市議会の総合開発特別委員会（議長 岩倉市長）は、27日に開かれ、市内25カ所に設置されているメガソーラー（大規模太陽光発電所）の設置状況や、F I T 制度の見直しについて、市長に説明を求めた。市長は、メガソーラーが25カ所に設置され、このうち8カ所が苫東地区にあると説明した。市長は、F I T 制度の見直しについて「非常に重要な問題である。エネルギーの需給バランスや供給事業者はどうなるか、動向を注視したい。国はしっかりとした方向性を示してほしい」と述べた。

また、市長は、メガソーラーの設置に伴う地権者の負担や、周辺住民への影響について、市として対応していく必要があると述べた。市長は、メガソーラーの設置に伴う地権者の負担や、周辺住民への影響について、市として対応していく必要があると述べた。

苫小牧民報
2019. 6. 28(金)

《熱血現場主義》

小さなことでも身近な問題を地域から発信します！

小山征三

検索

